安全対策工事紹介シリーズ

＜重大事故等発生時の当直員被ばく低減対策＞
６/７号機中央制御室 当直員用待避室の設置について

2020年 9月24日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

TEPCO

６/７号機待避室の概要

設置の目的

- 重大事故等が発生した場合においても、当直員（最大２０名）が中央制御室にとどまるために必要な設備を備えた待避室を設置
- 気密性を確保するとともに陽圧化を実施し、室外から放射性物質の侵入を防ぎ、内部、外部被ばくを抑制

設置場所　　：６/７号機コントロール建屋（中央制御室に隣接）

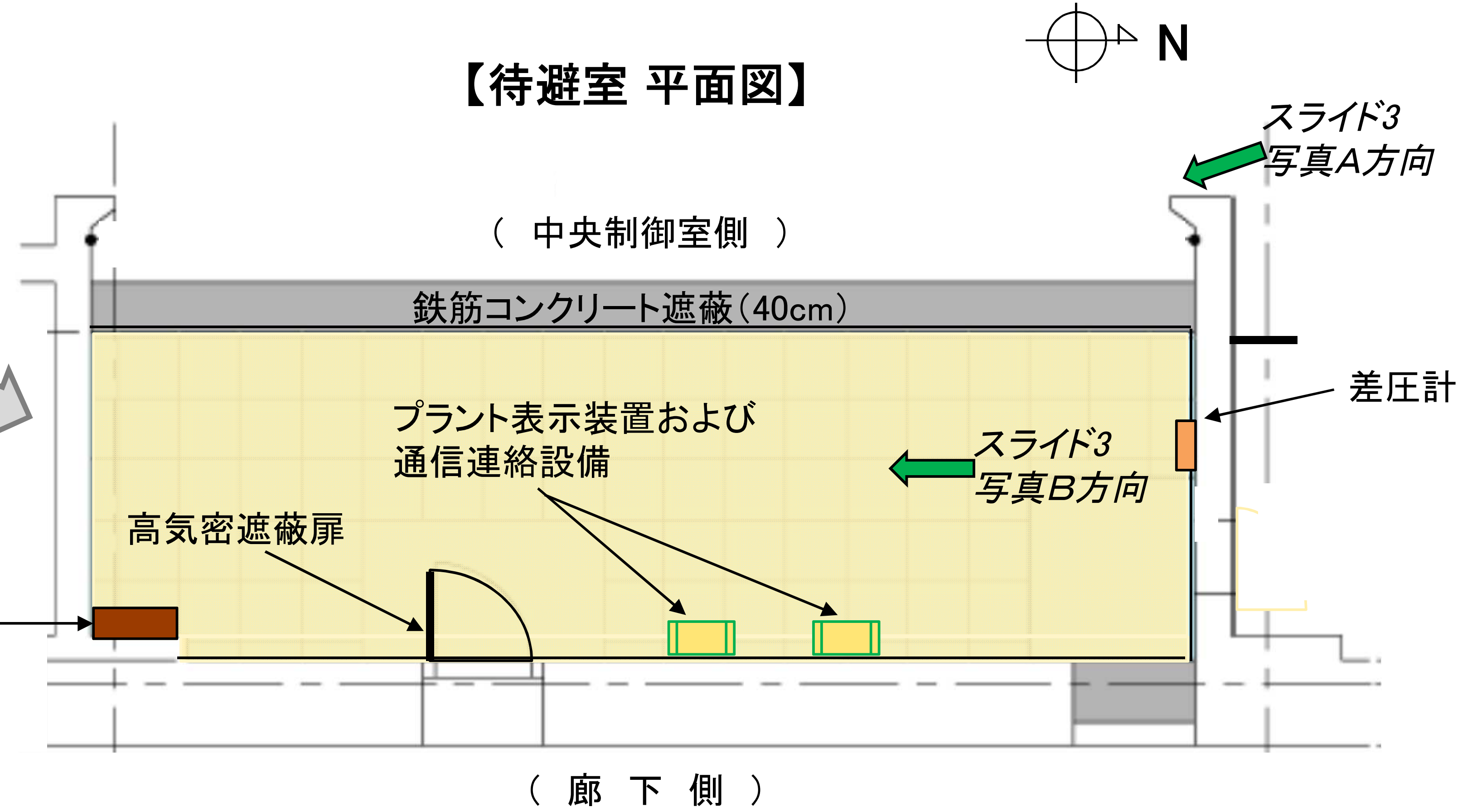
床面積　　　：約２５m^2

最大収容人数：２０名（当直員１８名 ＋ ２名）

最大居住日数：７日間

設置設備等　：プラント表示設備、通信連絡設備、放射線装備品、水・食料など

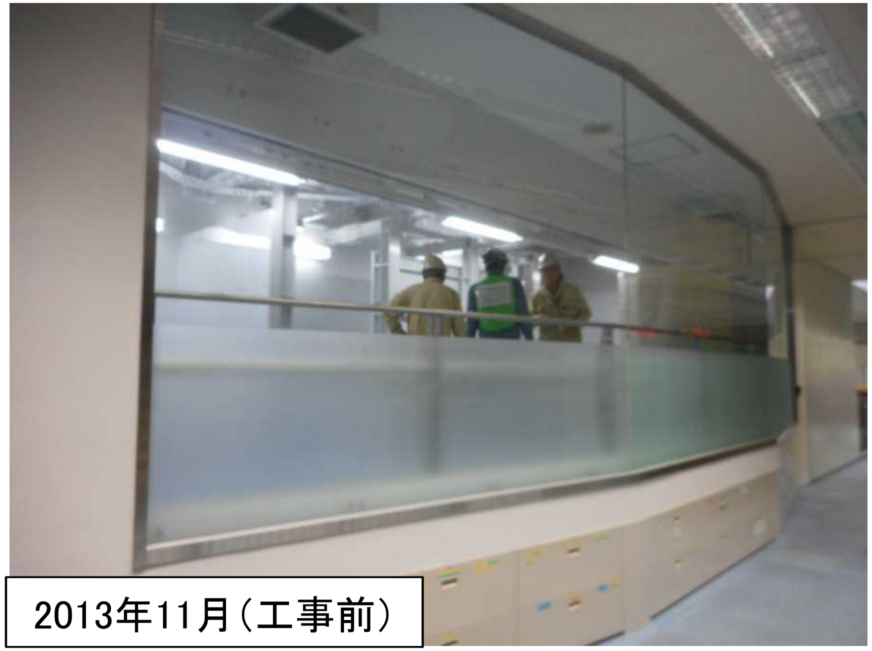
待避室 概略図



床下収納箱を設置し、放射線装備品、CO_2濃度計、O_2濃度計、乾電池内蔵型照明、備蓄食料等を配備

工事進捗状況

＜A方向＞



2013年11月（工事前）

2020年9月

＜B方向＞

2013年11月（工事前）

2020年9月